



任意団体 全国ブラックバス防除市民ネットワーク

水辺の生き物保全活動のための 多様な主体が協働する プラットフォーム作り活動

一般助成

1年目

実践

各事業地において
地域連携体制を
構築する

5事業地

全国117の
活動参加者数

7,875人

活動の全体目標に
対する達成度

65%

課題

水辺の生き物を保全するため、普及啓発、専門知識、人的資源・資金の確保等の様々な課題を、多様な主体が連携することによって解決する体制づくりを推進する。

活動内容

地域プラットフォーム作り(10事業)、人材育成・技術・情報など地域横断的プラットフォーム作り(3事業)を、水辺の生き物保全のためのプラットフォームのモデル事業として試行することを通じて、その過程で生じる困難、課題、問題点を整理し、各事業の経験を持ち寄ってワークショップを開催した。3年後には、プラットフォーム作りに必要なノウハウを盛り込んだ事例集を作成する予定。



連携体制構築のための企業
を交えた勉強会

今後の課題

水辺の生き物保全のためのプラットフォーム作りのノウハウを集めた事例集作成に関し、取材を強化する必要がある、今後は取材体制を立て直す予定。

成果と工夫した ポイント



成果

地域プラットフォーム作りでは行政、企業、教育機関のジャンルから新たに連携団体として参加があった。地域横断的プラットフォーム作りでは対象生物を拡大したほか、外来種駆除の新技术を各地に紹介することができた。

工夫

勉強会、講習会、観察会、ワークショップ等を通じ、行政、生産者、企業、教育機関等に積極的に働きかけた。